

第二三一回ペン川柳会

令和五年八月二十五日

お題 「白」

■ 塚田 (拿々) だだ

助け合い呆けもしないで共白髪
紅白を見ても知らない歌手ばかり

■ 三春 (火酒) ウオツカ

物価高もやしと鯖に白羽の矢
精霊馬わきを護るは蚊遣り豚

■ 大野 (だし)

白粉(おしろい)の香り漂う四畳半
紅白のワインを前に何思う

■ 松谷 (零門) れいもん

百寿でも楽しみないと白寿愚痴
忘れ得ぬモノクロ映画三十郎

■ 八木 (明迷) めいめい

白河の夜舟は乗ったことがある
着て寝れば間違われるぞ白襦袢

■ 安藤 (晃二) てるつぐ

白雪解け三島に流れ島田解く
クルーズコンかけ綿花道百マイル

■ 曾山 (酪帝) めいてい

白状も英語で言えば気が楽だ
白黒をはっきりせよと妻迫る

■ 山縣 (安兵衛)
やすべえ

白熱す走れなでしこノツポを倒せ
白か黒いやウイスキーは黒と白

■ 浜田 (我々好)
ウイスキー

白昼夢俺の句今月特選だ
朝顔が尻に巻き付く夏浴衣

■ 稲宮 (井波)
いなみ

白拍子いまなら舞妓手届かず
白旗を互いに挙げて兵郷(さと)へ

世話人 塚田 實(拿々)
だだ